

令和8年度 市民向け講演会

認知症の方とそ ご家族への支援

～認知症になっても安心して暮らせるまちづくり～

参加費
無料

予約不要
先着順

2026年
11月21日(土)
14:00-16:00
(開場 13:30)

会場

多摩市民館 大会議室
(定員200名)

川崎市多摩区登戸1775 多摩市民館3階
(小田急線向ヶ丘遊園駅徒歩5分)

開催趣旨

多摩区在宅療養推進協議会は、川崎市から委託を受けて活動を行っている多摩区内の在宅医療・介護関係者の団体です。当協議会では、一昨年、昨年に引き続き、認知症に関する市民向け講演会を開催いたします。65歳以上の方の約8人に1人が認知症と考えられており、認知症は誰もがなる可能性のある身近な疾患です。今年はより深く認知症の支援について考えるため、認知症の方だけではなく、介護をしているご家族への支援についても詳しくお話しいただきます。認知症と診断された方や、介護しているご家族だけではなく、認知症に興味がある一人でも多くの市民の皆様のご参加をお待ちしております。

第一部 認知症の基礎知識

篠原 健介 先生

川崎市立多摩病院 脳神経内科 主任医長
日本認知症学会専門医・指導医
川崎市立多摩病院もの忘れ相談外来担当医師



近年、アルツハイマー病に対する新しい治療薬が発売され、早期受診がより重要になっています。また、認知症にならないために有効な生活習慣も解明され、早くから実践することで発症を遅らせることが期待できます。当日は認知症予防に重要な生活習慣と新しい治療についてお話します。

第二部

認知症の当事者と介護して
いるご家族への支援

中條 共子 氏

認知症家族会 Together 代表
若年認知症グループ どんどん 共同代表
社会福祉士・精神保健福祉士



認知症家族会 Together は、認知症のある人をケアする家族同士の交流グループです。主に多摩区の介護家族が悩みを語り合い、情報交換や相談を通してお互いに支え合うことを趣旨としています。今回の講演では、家族介護の経験と認知症の当事者・家族の支援、地域での認知症の啓発活動についてお話いたします。